

令和5年度 大田区立蒲田中学校 自己評価 報告書

○本校の概要

・学校規模 生徒数224名(全8学級、1学年72名、2学年64名、3学年88名)、日本語学級併設  
 <目指す学校像> ・これからの社会を担う生徒に、やり抜く力を育み、生徒・保護者・地域から信頼される学校  
 <目指す生徒像> ・目標に向かって努力を続け、失敗を恐れず前向きに取り組む、成し遂げる力をもちた生徒 ・よりよい社会人になるために社会に貢献できる生徒の育成  
 ○令和4年度重点課題【主体的に考え活動する生徒の育成】 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○ICT機器を活用した授業実践 ○生徒会と共に学校ルールの見直しやボランティア活動の活性化  
 ・特色ある教育活動  
 ◇地域と連携したボランティア活動の推進◇学校ホームページ内の動画配信等による充実したオンライン学習教材 ◇放課後、土曜、試験前の補習教室(数学・英語)

○自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供 の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化に対応する子ども の力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	生徒・保護者アンケートより、「ICTを活用した授業を行っている」、「コミュニケーション能力を育成している」等の項目において肯定的に回答した割合が90%以上	A 5	・校長先生、副校長先生をはじめ、先生方と共に生徒たち のことを考えて教育に取り組んでいる姿に、正直に感謝して おります。 ・いじめ撲滅について、先生方が校内巡視を行っていること と、感謝いたします。先生方が忙しすぎずの時間も問題かと、子ども たちから何かを抱えて相談したくても、毎日せわしなく走り回って いる先生を見て、氣遣ってしまつたことがあります。	
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	2	3	生徒・保護者アンケートより、「ICTを活用した授業を行っている」、「コミュニケーション能力を育成している」等の項目において肯定的に回答した割合が70%以上				
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:80%以上の正規教員がChromebookに月に10日以上ログインし活用した。 3:70%以上の正規教員がChromebookに月に10日以上ログインし活用した。 2:60%以上の正規教員がChromebookに月に10日以上ログインし活用した。 1:60%未満であった。	4	3	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「学力や学習意欲を向上させた」等、学習に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	3	2	生徒・保護者アンケートより、「ICTを活用した授業を行っている」、「コミュニケーション能力を育成している」等の項目において肯定的に回答した割合が60%以上				
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	1	生徒・保護者アンケートより、「ICTを活用した授業を行っている」、「コミュニケーション能力を育成している」等の項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
ブラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	4	4	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「学力や学習意欲を向上させた」等、学習に関する項目において肯定的に回答した割合が80%以上	A 7	・生徒たちの頑張りが活躍等、学校だよりを通して発信して いただけるので、学校でのいろいろな場面等がわかり 楽しんでます。 ・ひとりひとりが好きなこと、自信のあることが見つけられる ことも学力向上につながるかも。 ・高評価の結果がわかりやすい一自由意見もあると、さらなる 向上につながる?		
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2-3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。	2	3	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「学力や学習意欲を向上させた」等、学習に関する項目において肯定的に回答した割合が70%以上				
		学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%未満であった。	4	3	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「学力や学習意欲を向上させた」等、学習に関する項目において肯定的に回答した割合が60%以上				
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	1	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「学力や学習意欲を向上させた」等、学習に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
ブラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、 自他の生命を尊重するなど、 未来への希望に満ちた豊かな心を はぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	4	生徒・保護者アンケートより、「学校生活が充実している」、「学校の雰囲気等、生活に関する項目において肯定的に回答した割合が80%以上	A 6	・生徒たちに寄り添って指導しています。 ・いじめはもちろん、度を超えた「いじり」も犯罪になり得るとの認識を大人がもち、子どもにも教えていってほしい。もちろん家庭でも。 ・いじめ防止、早期発見のとり組みは全校での風通しの良さが大事 と思う。皆の協力でなくなるとを願います。 ・道徳の授業が充実しないと感じる2%生徒へのアプローチが 必要か?		
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:学期に2-3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	3	3	生徒・保護者アンケートより、「学校生活が充実している」、「学校の雰囲気等、生活に関する項目において肯定的に回答した割合が70%以上				
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	3	生徒・保護者アンケートより、「学校生活が充実している」、「学校の雰囲気等、生活に関する項目において肯定的に回答した割合が60%以上				
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	3	生徒・保護者アンケートより、「学校生活が充実している」、「学校の雰囲気等、生活に関する項目において肯定的に回答した割合が60%以上				
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要な事案に対しておこなった会議を実施した。 2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。	4	1	生徒・保護者アンケートより、「学校生活が充実している」、「学校の雰囲気等、生活に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
		Web-OU等を実施し、学校生活における生徒の個々の意欲や満足感等の分析結果を指導に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	2	0	生徒・保護者アンケートより、「学校生活が充実している」、「学校の雰囲気等、生活に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
ブラン4 体力増進の向上と健康の	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、 生にわたって健康増進を図る意識の 向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	4	生徒・保護者アンケートより、「体力が向上した」、「健康的な生活を送っている」等、心身の健康や体力向上に関する項目において肯定的に回答した割合が80%以上	A 6	・運動会などを見学させていただいておりますが、全生徒一体となつて、同じ目標で指導しています。 ・部活を理由に越境する子どもが増えています。地域の子は学区内の中学で成長を見守るのが一番望ましいと思つます。先生方の負担も理解していますので、早急な部活動の地域移行を。 ・久しぶりの運動会、種目は少ないが有意義なとり組みと思う。 ・給食試食会の感想も取り入れてほしい。 ・部活動の少なさは、新入生減少へつながるのでは?		
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらとした「食育」を推進する。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	3	生徒・保護者アンケートより、「体力が向上した」、「健康的な生活を送っている」等、心身の健康や体力向上に関する項目において肯定的に回答した割合が70%以上				
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	2	3	生徒・保護者アンケートより、「体力が向上した」、「健康的な生活を送っている」等、心身の健康や体力向上に関する項目において肯定的に回答した割合が60%以上				
		部活動の活性化を図り、生徒の体力向上・健全育成に努める。	4:全教員(全学級)で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	1	生徒・保護者アンケートより、「体力が向上した」、「健康的な生活を送っている」等、心身の健康や体力向上に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
ブラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を 送るために、 教員の指導力向上と良質な教育環境 をつくりま す。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	4	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「授業に関する項目において肯定的に回答した割合が80%以上	A 6	・先生方のご指導や熱心に取り組んでいる姿に感謝して おります。 ・不登校の生徒の保護者同士で情報交換のできる場がある と、(例えば給食試食会などを利用して)ありがたいと思つます。親も 孤立気味になりませんので、 ・若手の先生が多いだけに、ベテランの先生(蒲中の勤務の永井先生)の 残存は必要不可欠と思つた。 ・教員による研修の参加等を積極的に発信するべき。		
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施し、ICTを充実させる。	4:学期に2-3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	3	3	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「授業に関する項目において肯定的に回答した割合が70%以上				
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	2	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「授業に関する項目において肯定的に回答した割合が60%以上				
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:1回以上行った。 3:学期に2-3回行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。	3	1	生徒・保護者アンケートより、「授業は分かりやすい」、「授業に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満				
ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、 地域に開かれた教育の実現を目指 します。 また、相互の連携を深め、 子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:月1回以上更新した。 3:学期に2-3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。	4	4	生徒・保護者アンケートより、「学校の様子や家庭に伝わっている」、「地域を生活している」等、家庭や地域との連携に関する項目において肯定的に回答した割合が80%以上	A 5	・地域が役割割等、学校の要望に対して地域としてどんな協力が も惜しげなく、常にさせていたいただいております。 ・親、友人の親以外の顔見知りの方が地域にいることは大切な ことです。消費会さんの挨拶活動はすばらしく、ありがたいです。 ・3年生対象の救命講習は、R5年度取り入れられていない。防 災訓練とともに年度初めに組み込みたい。 ・HPの更新が少ない。更新頻度がわかれば、閲覧する方も増 えるのでは? ・体校(感染症)等の情報を入れてほしい。			
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。	3	3			生徒・保護者アンケートより、「学校の様子や家庭に伝わっている」、「地域を生活している」等、家庭や地域との連携に関する項目において肯定的に回答した割合が70%以上		
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	4:学期に2-3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	3			生徒・保護者アンケートより、「学校の様子や家庭に伝わっている」、「地域を生活している」等、家庭や地域との連携に関する項目において肯定的に回答した割合が60%以上		
		「蒲田東地区自治会連合会」や「青少年蒲田東地区委員会」等と連携し、生徒の地域行事へのボランティア活動参加を推進する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	1			生徒・保護者アンケートより、「学校の様子や家庭に伝わっている」、「地域を生活している」等、家庭や地域との連携に関する項目において肯定的に回答した割合が60%未満		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。  
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。  
 ○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。